

羽島市立桑原学園で防災講座を行いました

令和6年11月25日（月）、羽島市立桑原学園で1～6年生約90名に地震、7年生18名に水害の防災講座を行いました。当日は防災・減災の日で、他にも防災カードゲームやテント・防災食準備などが行われていました。この学校での講座は3年目となります。

学校は、木曾川と長良川に挟まれ、近くには桑原川が流れており水害リスクが高く、また、揺れやすく液状化の恐れがあるなど地震リスクも高い地域に位置します。

地震の講座では、濃尾地震や元日に発生した能登半島地震、地震発生や液状化のメカニズムなどを学習しました。液状化実験では楽しいとの声が多くあがり、街の中でどんなところが危ないか聞いた際には、積極的に多くの児童が手を挙げるなど元気いっぱいでした。

水害の講座では、羽島市でも被害のあった伊勢湾台風や9.12豪雨災害についての学習や、VRによる浸水疑似体験、伊勢湾台風AI語り部との対話体験を行いました。VR体験後には、浸水時にどんな行動を取るのが正解なのか話し合っている様子も見られました。

今回の講座が、児童・生徒たちの防災意識向上に繋がり、災害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

地震



水害

